

徘徊・威圧・恫喝・・・ 副所長の業務って何？

7 月の人事で大一運輸所、大二運輸所それぞれの職場では、「IC 乗車券不正使用」をはじめ様々発生している諸問題に対して、これまで以上に社員管理を強化するため、新たな管理体制がしかれました。

そして「綱紀粛正」を名目に「命令と服従」「規律と忠誠心」をさらにエスカレートさせ、社員を抑圧することで問題解決を図ろうとしています。

今回の人事の中で特に異例といえるポストが、T 副所長の大一運、大二運兼務です。7 月以降は各科長ポストは兼務なしで、副所長のポストだけ独立させました。しかも、これまでには一度も両職場兼務というポストはありませんでした。

新人事から約一ヶ月経過し、それぞれの職場で「T 副所長は鉄道員としての業務をしているのか？不思議に思う」という人を多数耳にします。

なるほど、朝からそれぞれの職場の中を徘徊し、ユニオン組合員を中心とした人たちには笑顔を振りまき、一変大一運、大二運の東海労組合員に対しては、にらみをきかせ、そして狙い撃のごとく、立ち会い点呼で威圧したり、ホーム出場時、帰着時に扉で待ち伏せ監視したり、またある東海労組合員には「インシヤルで名前を呼んだり」「執拗に指摘を繰り返す」など明らかに「恫喝・いやがらせ」ととれる行為を繰り返しています。

7 月の新人事までは、大二運の運転科長兼務で、しばしば 21 時以降まで業務している姿を目にしました。しかし 7 月以降 18 時頃退社する姿がみられるようになりました。

また、昔から T 副所長は、職場内外を徘徊し、東海労組合員を中心に威圧・恫喝することが「とくい技」であったことから、今回の副所長兼務のポストが、その才能を買われた「労務管理」のみでの存在であるといっても過言ではないでしょう！！

以上のことから考えると、この副所長というポストは、鉄道における業務としてあってもなくても同じではないでしょうか！？

「労務管理」にのみ存在する副所長は、爽やかな風通しの良い職場には不必要！！

